

評価細目の第三者評価結果 【高齢者版】

			第三者評価結果
A-1 支援の基本			
1	A-1-①	利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	b
		<コメント> アセスメントシートを活用して利用者一人ひとりに合わせて作成されたケアプランにもとづいて支援を実施している。15種のクラブ活動があり、地域の方と共に複数に参加している利用者も多く余暇活動を楽しんでいる。	
2	A-1-②	利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	b
		<コメント> 職員同士で言葉づかいが気になったときはその場で注意し合うこともあり、申し送りや会議等の検討会で確認し向上を目指している。車いすや身体的レベル重度の方への支援が重点的になってしまうときもある。	
A-2 身体介護			
3	A-2-①	入浴介助、清拭等を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
		<コメント> 天然温泉を利用した浴室で男女別に曜日・時間帯を割り振りしているが、希望があれば毎日入浴することも出来る。自立の方はグループ分けした複数で入浴し、個浴も設置してあり介助が必要な方には職員が付き添い安全面に配慮している。	
4	A-2-②	排せつ介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
		<コメント> 排泄委員会の職員が中心になり、本人の希望を聞きながら排泄用具を検討している。なるべく下剤を使用しないように様々な補助食品を摂取しながら、便秘予防に努めている。	
5	A-2-③	移乗、移動を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	b
		<コメント> 車いす利用の方には食事に行く際の短い時間でも歩いてもらい、残存能力を活かした下肢筋力が維持出来るよう支援している。建物の構造上廊下が狭く、車いす同士がすれ違う時や階段昇降などの危険防止への取組に期待したい。	
6	A-2-④	褥瘡の発生予防を行っている。	b
		<コメント> 体位交換が必要な方には交換時間の表を作り、清潔さの確保や離床を促し職員同士で共有しながら発生予防に取り組んでいる。	
A-3 食生活			
7	A-3-①	食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a
		<コメント> 年1回の嗜好調査、毎月の給食懇談会は利用者全員に行われ、献立に反映させている。誕生日の希望献立・選択食・バイキング・おやつ作りなどを取り入れ、楽しみな食事になるよう工夫している。	
8	A-3-②	食事の提供、食事介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
		<コメント> 食席も定着しており会話をしながら食事をし、苦手な物には代替食や希望する食事形態を提供している。食事の摂取量は下膳のとき職員が確認し記録している。	
9	A-3-③	利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	b
		<コメント> 協力医院の歯科往診診療を実施しており、検診・診察治療してもらっている。食後の口腔ケアを声がけ誘導しているが確認までは至っていない。	

評価細目の第三者評価結果 【高齢者版】

A-4 終末期の対応			
10	A-4-①	利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立している。	a
		<コメント> 終末期をどのように迎えたいかの確認を入居時に行っている。重度化した場合は家族等・医療関係者・職員と連携を図り対応方針を共有しながら、おだやかな最期を迎えられるよう支援に努めている。	
A-5 認知症ケア			
11	A-5-①	認知症の状態に配慮したケアを行っている。	b
		<コメント> 利用者の心身の状況を踏まえ、クラブ活動への参加や施設内の役割を持ちその人らしく生活出来るよう支援している。受容的な関わりをしているが、認知症ケア等について知識・情報を得られるよう職員の更なる研修が望まれる。	
12	A-5-②	認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。	b
		<コメント> 危険物の点検や管理を行い、居室は2人部屋で利用者の組み合わせ等に配慮し安心安全で落ち着いて過ごせる環境づくりをしている。共有スペースの談話室が狭く利用者が多い場合などは不十分なので今後の中・長期計画でも検討している。	
A-6 機能訓練、介護予防			
13	A-6-①	利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	b
		<コメント> 利用者の状態に応じ必要な方に対してはケアプランに組み入れ、専門職の助言を受けながら機能訓練を行っている。全員が参加出来る介護予防活動を計画し運動不足にならない取り組みを期待したい。	
A-7 健康管理、衛生管理			
14	A-7-①	利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順が確立している。	a
		<コメント> 利用者の健康チェックを行い職員で共有し、体調の変化時や急変時等に対応できる手順を確立している。服薬は4重チェックを行い、利用者にも確認し誤薬防止に努めている。	
15	A-7-②	感染症や食中毒の発生予防を行っている。	a
		<コメント> 毎日の手洗いやうがいを励行し、発生した場合のシミュレーションを年に2回実施し対応手順を確立している。職員は感染症に関する勉強会を行い周知徹底を図っている。	
A-8 建物・設備			
16	A-8-①	施設の建物・設備について、利用者の快適性に配慮している。	b
		<コメント> 椅子・テーブル等の家具や建物の内装等の老朽化と廊下や談話室がスペース的に狭く利用者が落ち着けない状況と、思い思いに過ごせる共用空間が少ないことからトラブルになることもある。ハード面においても、引き続き中・長期計画の中で検討している。	
A-9 家族との連携			
17	A-9-①	利用者の家族との連携を適切に行っている。	a
		<コメント> 家族会には行事等の参加を案内状で促し、利用者の体調不良や備品購入時、また利用者の担当職員が代わった場合にも知らせ、連携が適切に行われている。	